

◇ 行事報告 ◇

6月18日（土）摩利支天月例祭

久しぶりに本堂での読誦会と摩利支天堂での月例祭を執行させて頂きました。

5月の標語には『松野殿女房御返事』の一文が掲載されています。

日蓮聖人の時代では、着物は貴重品で、風雨をしのぐ着物はとても大切なものであり、寄進に頼るしかなかったのです。

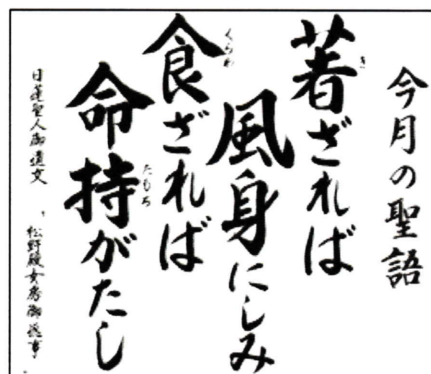
又、食物も寄進によることがほとんどでした。冬は今よりも雪が深く、また便利な交通手段もない時代に、遠く、雪深い身延までこれらを届けて下さる信縁者の方に、日蓮聖人は丁寧に御礼の手紙を送られています。私たちは一人では生きていけません。食事も衣服も、自分以外の多くの人・多くのモノによって作られています。互いに支えあって生きているのです。情けは人の為ならず、と言います。他のために尽くすことが、回り巡って自分を助けるということです。この御縁を大切にしていける、当たり前の事がいかに大切かを「感謝」して過ごしたいものです。

話はかわりますが、季節の変わり目である夏至が6月21日にありますが、この季節が変わる日（夏至、冬至、春分、秋分）を中心に前後3日間（一週間）に恵方に行

く、良い水を飲む、お墓・神社仏閣参りをする。等を行うと運気のチャージができるそうです。

また、お盆が近づいています。お仏壇の中、香炉やろうそく立ての掃除をしてご先祖様への感謝の功德を積ませて頂きましょう。

今年も暑くなるようです。体調管理には十分お気を付けて、ご自愛下さい。



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

8月18日(木)、9月18日(日)午前10時より執行いたします。当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

施餓鬼会

9月20日(火) 午後1時より執り行います。

施餓鬼会のご案内を同封させていただきますので、棚経の時から8月20日までにご返信頂ければと思います。詳しくは案内文をご確認下さい。当日の駐車場につきましては来月「妙法華寺便り8月号」でお知らせします。

また、当山総代世話人会及び組寺会の話し合いで、施餓鬼会は一昨年度より「彼岸の入りの日」ではなく、「**9月20日**」の固定日となりました。組寺の各寺院も固定日にて法要を行うこととなりましたので、宜しくお願い致します。

◇ お知らせ ◇

本年度、岡山県日蓮宗各寺院の役員改選がおこなわれました。

当山の干与人・責任役員は最上稲荷山妙教寺、副干与人は妙玄寺、総代は引き続き難波嗣郎様・佐藤勝様・富山宗資様に就任して頂き、筆頭総代の難波嗣郎様には引き続き責任役員も引き受けて頂きました。

皆様、これからも宜しくお願いいたします。

◇ 近 況 ◇

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害から丸4年が過ぎました。当山では塔婆を建て7月6日の夕勤にて、供養の読経をいたしました。

今年はロシアのウクライナでの侵攻など、世界情勢も不安定な状態です。また地震も頻繁に発生したり自然災害も多くなってきました。しています。

毎年の事ですが、今一度、ご家族で災害時の対応を話し合ったり、持ち出し用品の確認をしたりしてはいかがでしょうか。新型コロナウイルスの収束もなかなかのようです。引き続き、手洗い・うがいを励行してお過ごし下さい。

合 掌